

智頭町百人委員会事業

採択事業 不採択事業

平成27年度

(円)

部会	プロジェクト名	事業の概要	予算	決算	町事業
商工観光	智頭のお土産モデルショップ！大作戦	智頭町を訪れる年間6万人の観光客に対し、魅力的なお土産をつくり、「智頭のお土産」の地位を高める。平成27年度から3か年計画で実施。①商品：生産者との連携強化、特産農業部会との連携、商品開発。②店舗：開業資格の取得、研修の受講、講師の招	200,000	12,028	-
生活環境	町民協力型環境まちづくり事業 ～町民参加のエコ活動をしよう！～	21年度から実施している「エコキャップ回収運動」を継続して実施する。ダンボールコンポスト推進事業。	120,000	73,445	-
健康	住民の健康意識の向上	以前から告知端末を利用して健診受診の啓発を行ってきた。27年度も告知端末を利用すること、平成26年度作成予定のポスターなどの掲示物を使うことで、受診の啓発を継続する。また、健康保持増進につながる親しみやすい健康体操があればと考え、健康意識の向上の一環としてこの健康体操を広く周知したいと考え	179,000	95,718	-
特産農業	ルバーブ(カシス)ブランド化プロジェクト	智頭町内での栽培が可能であると立証され、栽培拡大のみだけでなく、協力者を募ることでルバーブの販売システムを確立し収入実績をつくる。森林セラピー等で訪れた観光客にウェルカムドリンクとして提供し、美容と健康に対する意識の高さをPRする。	300,000	300,000	-
林業	「杉のまち智頭」独自の作業道補助金制度の導入	・小規模自伐林家が間伐による森林整備意欲を失わないため、切り捨て間伐と合わせて小規模間伐作業道整備を町独自の補助金により支援。	1,782,000	1,782,000	-
	「杉のまち智頭」独自の薪ストーブ等購入助成制度の導入		-	-	4,500,000
教育文化	伝統的な町並みや建造物の良さを知ってもらう	森の劇場牛臥でのイベント開催。マルテ跡地活用方法を考えるきっかけと文化的な憩いの場となるイベントの実施。智頭宿魅力アッププロジェクト。地元の職人技を指導してもらい、智頭宿の町並み保存と町民への関心を深めるきっかけとする。智頭農林高校生とのコラボレーション。	210,000	210,000	-
	豊かな人間性をはぐくむ小学校・中学校との連携	小学校での国際交流として、今までの交流の縁を大切にしながら国際交流を進めるとともに、「アフリカのたんぼ」の活動を継続する。中学校とカリキュラム協議のうえで、外部から講師を招聘して	300,000	253,140	-
	智頭版土曜授業の場の提供(土曜サドベリークラス)	森のようちえんまるたんぼの卒園生を中心に自然遊び、創作遊びに慣れた仲間たちを集める。あわせて智頭町の小中学生を加える。時間は土曜日の9時から15時。拠点は新田集落。	830,000	823,631	-
獣害対策	有害鳥獣を地域資源として有効活用!!「シカ皮の商品開発」	遊休施設を獣肉処理施設に改装し、食肉として販売する環境を町が整備。シカ皮の有効活用と特産品化を目指し、先進地の視察、試作品の生産を支援。獣肉のおいしさを広くPRし、ジビエ料理の認知度を上げる。捕獲頭数の増加を図るため、狩猟免許取得を支援し、捕獲者を増やす。	276,000	276,000	-
合計額			4,197,000	3,825,962	4,500,000